

# あにわにわ 通信

第12号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドの  
マオリ語で虹を意味しています。

2011.1.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1  
電話：03-5786-3250 FAX:03-5786-3256  
E-mail: [info@ai-port.jp](mailto:info@ai-port.jp)  
URL: <http://www.ai-port.jp>

全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509  
電話：03-6657-8539 FAX:03-3499-8539  
E-mail: [station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)  
URL: <http://www.ai-port.jp>

## 「港区に子育てのつながりを！」

あい・ぽーと代表理事 新澤誠治

あい・ぽーとは大日向施設長の「孤育をしないでみんな育て合おう」という掛け声のもと、多くの人の協力やスタッフの努力により、ひろばでは豊かなプログラムを組み、一時保育、キッズ交流ガーデン等の多彩な活動をし、子育て支援のネットワークをつくりだしてきました。同時に「子育て・家族支援者養成講座」も回を重ねて、すぐれた子育て支援者をたくさん生みだし、自治体研修では多くの自治体職員が参加して全国のひろば事業の推進の力になりました。なによりも設置、運営責任者である港区の理解と信頼を得て、当法人との協働の働きを確立させていただきました。年度の初めにあたり、「孤の時代」と言われる中で、一層の港区の子育ての推進をなし、その上で全国のひろば事業の指針となるような一層の飛躍をしたいと思います。

## 港区子ども家庭支援センター 所長

保志幸子

あけましておめでとうございませう。昨年は児童虐待が大きく取り上げられることが多かった一年でした。年末の虐待防止シンポジウムでは大日向先生、汐見先生にもご参加いただき、大変深く心に残るお話をさせていただきました。これからも深く心に残るお話をしたいからこそ不安や寂しさ、閉塞感に陥ってしまう保護者の気持ちや、自立とは親がゆるく縫ったしつけ糸をほどこいて子どもが自分で縫い合わせていくこと、など胸が熱くなる言葉がたくさんありました。

あい・ぽーとに期待するのは、そんな迷いの中にある保護者や子どもたちに寄り添っていただくことです。あせらずゆっくり育てていこう、自分を信じようということを温かく伝えていただきたいです。大日向先生をはじめ、あい・ぽーとのスタッフの皆様、子育て家族支援者の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 千代田区子ども・教育部

児童・家庭支援センター 子育て事業

係長 亀崎岳彦

「子どもと親の育ちを地域全体であたたく支えるまちの実現」のため、あい・ぽーとステーションのお力を借りて「子育て・家族支援者養成講座」に取り組み、早や二年となりました。

あい・ぽーとの登録支援者の方々には、既に本区のままな子育て支援事業で活躍いただいております。日増しに経験や知識が高められていることを感じ、担当としてやりがいを実感すると共に、今後さらにも多様な場面で、子どもとご家族のためにご支援いただけるものと期待しております。

「保育に欠ける」という発想から、「保育を必要とする」いわゆる現場のニーズに添えるべく、子育てをしている家族を行政が応援することはもちろん、地域全体でも支えあうことのできる環境づくりに全力を尽くしたいと新年を迎え決意しているところです。関係者の皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

## 浦安市子ども部子ども家庭課 課長補佐

本田恭代

新年おめでとうございませう。早いものであい・ぽーとと仕事を始めてから五回目の新年を迎えました。今でこそよく耳にする人材養成講座も、二〇〇八年当時はまだ珍しく、子育て・家族支援者養成講座は、先駆的な事業であったと記憶しています。異動したばかりの私は知識が無いまま取り組み、気がつけば五年経過していました。

人材養成は、かかる手間に比べ、結果が見えにくい仕事です。何かを作ったりするものであれば成果品として目に見える物があるけれど、人を養成することはそれは大きく異なりました。始めたばかりの頃は、講座の運営に重きを置き成果については、市主催の事業にかかる活動をしてくださる方の養成と捉えていました。しかし、

継続した講座は、受講生たちとのつながりを生み出し、認定者の方たちの自主的な活動として別な成果が見えてきたのです。行政の考えだけでは広げられない、活動につながってきたのです。子育てケアマネジャーは市民目線で悩める親御さんの相談窓口になりました。受講生たちの団体の立ち上げは、サロン活動として地域に溶け込み始めています。

異なる、成果が目に見えてきたのです。

こんなに時間をかけて取り組む仕事に携わることができるとは、異動のある行政の人間としては稀なことだと思います。六年目に入る今年は、下のものを育て、支援者さんたちとともに活動ができる環境を整えることが目標です。実り多い一年にしていきたいと思っております。どうかよろしく申し上げます。

## 高浜市役所

子ども未来部子ども育成グループ

副主幹 磯村順司

皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。高浜市では3歳未満児を対象とした家庭的保育事業を平成12年から開始していますが、質の向上のため、特定非営利活動法人あい・ぽーととステーション様の協力のもと平成二〇年度より子育て・家族支援者養成講座を実施してきました。

国では今後の子育て支援の基本となる「子ども・子育て新システム」に家庭的保育等を小規模保育サービスとして位置づけていますが、高浜市においても3歳未満児の保育需要に対応するため進めてきました家庭的保育事業を養成講座を受講した人材を活用して今後も実施していきたいと思っております。担当として業務を推進するにあたり皆様方のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 【高浜シンポジウム】

十一月二十九日(月)、高浜市「子育て・家族支援者養成講座」第三期の締めくくりとして、大日向先生、汐見先生、そして、吉岡高浜市長の三名による、シンポジウムが開催されました。吉岡市長におかれましては、大変ご多忙の中、会場まで駆けつけて頂き、九十分にわたり高浜市の子育てについて、議論を交わして頂きました。

シンポジウムに参加して

愛知県高浜市長 吉岡初浩

平成二十二年十一月二十九日に「子どもの心身の発達と保育」と題しましたシンポジウムに参加させていただきました。本市が策定中である第6次総合計画の核となる将来都市像「思いやり支えあい手と手をつなぐ大家族たかま」を紹介させていただきました。「大家族」という言葉には、地域のつながりやぬくもりの中で子育て・子育てを支えたいという思いが込められています。真に魅力的なまちづくりや子育て支援体制の構築に向けて、多くの意見に真摯に耳を傾けながら、時代や地域のニーズに即した高浜らしい施策を展開していかなくてはならないとの思いを新たにいたしました。シンポジウムを通して、最新の情報を知るとともに、当市の子育て支援施策を考える新たな視点を獲得することができました。このような機会を設けていただいたことに感謝申し上げますとともに、貴法人のますますのご発展をお祈り申し上げます。



白梅学園大学 学長 汐見稔幸  
昔フロンが理想の国家について本を書きました。そこでは国家の人口はほぼ六万人がいいということになっています。

高浜市は人口は五万人足らずで、フロンに言わせれば理想に近い人口です。ということは、みんなが高浜市ではなくここは高浜国なんだと思つて、自分たちの住んでいるこの国を世界で一番子育てしやすい、笑顔あふれる国にするんだと決意すれば、本当に世界で一番子育てしやすい国になることは可能だということです。市長と市民が同じ土俵で、これからの子育て、家族支援のあり方を考えている姿を見て、僕は、全市民、全行政が同じことをすれば、世界一になるのかな、と思つて参加していました。

## 【浦安市家庭的保育者養成研修会】

浦安市では二〇一一年度四月から家庭的保育(通称保育ママ)事業が本格的に開始されます。四月からのお子さんの受け入れに先立ち、家庭的保育者として、保育に携わっていただく方々の養成研修会を二〇一〇年九月から行ってきました。

家庭的保育事業は、児童福祉法の改正により二〇一〇年から児童福祉法上に位置づけられました。法改正に伴い厚生労働省から「家庭的保育事業ガイドライン」が各自治体に通知され、浦安市でもそのガイドラインで示されているカリキュラム(下記参照)に沿って研修会を行ってきました。研修会を終えての感想を浦安市の担当課の鹿野様よりお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

## ～家庭的保育者養成研修カリキュラムの概要～ (「家庭的保育事業ガイドライン」より、一部抜粋)

### 1. 認定研修

子ども家庭福祉〔「児童福祉・社会福祉」関連〕	(4時間)
子どもの心身の発達と保育〔「発達心理学」関連〕	(8時間)
子どもの健康管理〔「精神保健」・「小児保健」関連〕	(8時間)
子どもの栄養管理〔「小児栄養」関連〕	(6時間)
子どもの安全と環境〔「小児保健」・「養護原理」関連〕	(8時間)
子どもの保育〔「保育原理」・「教育原理」関連〕	(6時間)
保育実習Ⅰ〔連携保育所の3才未満児クラス中心の実習〕	(48時間)
保育実習Ⅱ〔連携保育所又は認可保育所において実習〕	(20日間)

**合計：88時間＋20日間の研修**

### 2. 基礎研修

家庭的保育の概要 (60分)	小児保健Ⅱ (120分)	食事と栄養 (60分)	心肺蘇生法 (120分)
乳幼児の発達と心理 (90分)	家庭的保育の保育内容 (120分)	保護者への対応 (90分)	
家庭的保育の職業整備・運営と管理 (120分)	安全の確保とリスクマネジメント (60分)		
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項 (90分)	気づかぬ子どもへの対応 (90分)	子ども虐待 (60分)	
グループ協議 (90分)	見学実習 (2日以上)	など	

**合計：21時間＋2日間以上の研修**

※浦安市では、以上の「認定研修」「基礎研修」の講義や実習を3カ月以内で受講、更に最終の修了試験合格することで、初めて家庭的保育者として市から認定を受けるようになります。

家庭的保育者養成研修会を終えて

浦安市保育幼稚園課 鹿野米子

研修初日、家庭的保育事業の第一歩として不安を抱えながら受付にいた私は、受講生の方々が元気に張り切っている姿を見て、励まされてしまいました。

先生方の熱心な講義や保育実習、調理実習もあり盛りだくさんの内容でしたが、研修が進むにつれて家庭的保育者になる意識や受講生同士のつながりも深まっていくと感じました。

研修後半の講義で「家庭的保育者とは」のテーマで受講生一人ひとりの思いを皆でまとめていく作業がありました。家庭的保育者、補助者の仕事を「専門」としてしっかりと意識されており、今まで研修で学んだことをしっかりと身につけて基礎となっていることを感じました。このことについては、講師の先生より褒めの言葉をいただきました。

市川市の保育現場の見学と実習では、自分で保育するイメージがしやすくなり安心したり、気を引き締めなければならぬ部分を再認識したり、期待感を持つたり等、有意義な実習となりました。

今後は、家庭的保育者養成研修会の一期生と共に、浦安市の家庭的保育の基盤づくりをしていきたいと思っております。たくさんの方々にご協力いただき、ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいですが、ありがとうございました。



# あい・ぽーと ふれあいフェスタ 2010



みんなで祝う

## あい・ぽーとバースデイ!

11月27日(土)に開催された恒例のあい・ぽーとお誕生日イベントも今年で7回目!!

今回は、カウントダウンウィークを設け、スタンプラリーを開催しました。スタンプラリーの内容は、お掃除・さやえんどうの種まき・キウイの収穫・記念のトーマスボール作り・ポーチ作りでした。ポイントが貯まった方には、あい・ぽーとのオーガニックハーブを使ったお料理でおもてなしさせていただきました。当日は、手品や読み聞かせ等のおたのしみコーナーの他、占いコーナー・キッズヘアカット・メディカルハーブ講座・似顔絵コーナーを設けましたが、どのプログラムも大盛況となりました。多くの方々に楽しんでいただき、とても良いあい・ぽーとバースデイとなりました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。今年のフェスタは、すべて子育て・家族支援者さんと一緒に企画し、実施しました。支援者の皆様に心から感謝いたします。

「あい・ぽーと」は、これからもますますみなさまに喜んでいただけるプログラムを考えていきたいと思っておりますので、今後どうぞよろしく申し上げます。

### 港区子ども家庭支援部長 杉本隆

あい・ぽーとは昨秋、創立7周年を迎えられました。この間の地域の子育て力の向上、子育て家庭を支えるための活動により、区が目指しております「子育てするなら港区」の実現に向け、大きなお力を頂いて参りました。今後とも、あい・ぽーとの益々ご発展を祈念申し上げますとともに、安心して楽しみながら子育てができ、子ども達を健やかに育むことができる地域社会の実現のため、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、港区は都心回帰などにより、一昨年、四半世紀ぶりに人口が20万人を回復しました。年少人口も増加し、とりわけ就学前児童数が急増しています。また、合計特殊出生率も平成17年度以降上昇を続け、一昨年には東京都の平均値(1.12)を超え、1.15となるなど出生率も大きく増えています。元気な子どもたちの声がまちに響き、まちの活力が蘇ってきた様子は本当に喜ばしいことと感じています。

しかし、一方で、都心港区は核家族化がさらに進行し、子育てで家庭の孤立化や子育てに不安や悩みを抱えている家庭、保護者が増えています。また、現下の厳しい社会経済状況から共働き世帯が急増し、また、勤務形態の多様化などにより保育園の入園希望者が急激に増えており、保育園の待機児童の増加なども重要な問題となっています。子育てを取り巻く環境は大きく変化し、港区の子育て家庭、保護者は様々な悩みを抱えながら本当に精一杯で子育てに取り組んでいらっしゃいます。子育てと子育てで家庭を支えるために、まだまだ重要な課題が山積されています。

あい・ぽーとは、子育てに関する悩みや相談を受け、親子が気軽に集い交流し、情報交換を図ったり、親がリフレッシュできる、そうした今まさに重要になっている子育てと子育てで家庭、保護者を支える取り組みを7年も前から先駆的に行ってまいりました。区としても保育園の待機児童の解消はもとより、どのような時代の変化があっても、子育てに不安をお持ちの家庭、保護者への相談、支援の充実など地域社会が一丸となって子育てと子育てで家庭を支えることができる地域社会の実現に取り組んでまいります。今後とも、大日向施設長をはじめ、あい・ぽーとの皆様と手を組んで、どのような状況にあっても全ての子ども達を健やかに育むことができる、都心港区特有の課題に対応した港区ならではの子育て支援の仕組みを創り上げてまいりたいと考えています。お力添えをお願い申し上げます。

### ☆キッズヘアカット☆ 影島幸子

このフェスタにキッズカット等、はたして赤ちゃんの髪を切らせて下さる方は、無いのではと、考えての当日、会場は圧巻のサロン風。思惑通り一人きり、泣いたり動いたり、あやしく、なだめつ、だっこしての汗の中終了。「ハイッおしまい」にびたっと、ニッコリが呼び水となり、一人又二人、はては大入満員の内にメ切。提案を採用して下さった事務局にはひたすら感謝あるのみ。日頃のご恩返しが出来た心地でした。

あい・ぽーとの目的と志に共感し、支援する使命と責任を全う出来る様願って止みません。



### ☆スパリの中! 占いコーナー☆ 宇野澤勝美

あいぽーとに利用者としてお世話になったのが、5年前。あいぽーとの7年目のお祝いに、こうして支援者としても参加できたこと、とてもうれしく思っています。当日は、お子様のお誕生日から、お子様の性格、親子関係等、ちょっと違った角度からでしたが、子育てを楽しく過ごすワンポイントアドバイスになればと思い、鑑定させていただきました。ありがとうございました。



### ☆手品☆ 井林靖雄

支援活動に関する用件は、電話で済ませてしまい、「あい・ぽーと」を訪ねる機会が、すっかり少なくなったこの頃でしたが、「ふれあいフェスタ」でマジックを演じて、いつもの雰囲気を直ぐに思い出す事が出来ました。子育て支援の活動中に、区内の施設をいくつも利用しますが、「あい・ぽーと」には他所では感じない、ここだけの心地よい雰囲気があります。施設の関係者やスタッフ、支援者、利用会員等の多くの人々の七年間にわたる積み重ねが作り上げた宝物です。地下鉄を乗り換えて、小一時間かけて来る度に、家の近くにもう一つあったらなと思い、地元で多くの親子と最高の笑顔で出会える日を夢見しています。



### ☆あい・ぽーとカフェ☆ 梶浦紀子

カフェでは事前に利用者御家族でスタンプラリーに参加しポイントを集めて頂き、当日あい・ぽーとの庭で育てたオーガニックハーブを使ったお料理・デザート・お茶でおもてなし致しました。レシピもご用意致しました。どのプログラムも沢山の方に楽しんで頂けたようで、嬉しく思います。

### ☆あい・ぽーとカフェ☆ 永谷芳子

あいぽーと7周年お祝いのおもてなしに、お庭で栽培したハーブを使用して、こだわりの天然酵母パン、チキンと山芋のちょっと変わったローズマリーミートローフ、そしてプロのパティシユエ指導の下で作ったハーブクッキーとローズマリームース、どれもみな2ヶ月以上前から試行錯誤を重ね準備をして、スタッフの心の込められた手作りの品でした。当日は皆様に美味しい美味しいとご好評を頂き、利用者さん、支援者さんと共に大きく育てたあいぽーとを、素敵な温かいバースデーでお祝いできまして、感無量の思いでした。



## 【子供未来とつきようメッセ 2010】

子育て応援とうきよう会議主催、東京都共催による「子供未来とつきようメッセ 2010」が、昨年十二月十七日東京国際フォーラムで開催されました。当法人は、日頃の活動紹介と共に、一月二十一日&二十二日そして二月二十五日開催予定の「全国自治体職員向け講座(第IV期)」<子どもの発達環境を地域でいかに守るか!>を広報させて頂くと共に、他の団体から色々と学ばせて頂く目的で、このイベントに参加致しました。企業、NPO、社会福祉団体など四十三団体が出展し、パネルディスカッション、講演、対談なども行われ、当日は二千名を超える来場者となりました。私どものブースも多くの方が訪れ、今までの講座写真やプログラムを掲載したパネルを丁寧にご覧下さる方、内容の説明に熱心に耳を傾けて頂いた方々に、用意した全ての案内パンフレットを配布することができました。本法人の子育て支援活動について広く皆様に知って頂くと共に、自治体職員研修に一人でも多くの方がこの講座に参加して頂けたら幸いです。



## 【全国自治体職員研修第IV期】

子どもの発達環境を地域でいかに守るか!

「改めて「子どものための」議論を」

〈第一回〉

日程 一月二十一日(金)・二十二日(土)

テーマ 今、地域でめざすべき子どもの保育と支援とは

対象 全国自治体の子育て支援行政担当者  
会場 子育てひろば「あい・ぽーと」

〈第二回〉

日程 二月二十五日(金)

テーマ 「社会の皆で子どもの育ちを見守る」ために

対象 全国自治体の子育て支援行政担当者  
あい・ぽーとステーション認定子育て家族支援者、一般。

会場 女性と仕事の未来館

★応募方法：すでに配布させていただきました研修のご案内を一通り読んでいただき、添付の申込書にご記入の上、ファクシミリか郵送でお申し込みください。  
第二回目の奮闘のご参加お待ちしております。

「問い合わせ先」

あい・ぽーとステーション

子育て・家族支援者養成講座事務局  
TEL 〇三(六六五七) 八五三九

## 【バックアップ研修開講予定】

〈港区〉

一月三十一日(月)二・三級対象

十三時から十四時三十分

内容 活動状況報告及び話し合い

講師 大日向雅美

(本法人代表理事)

子育てひろば「あい・ぽーと」施設長

会場 あい・ぽーと二階 多目的ホール

二月九日(水)九時三十分から十二時三十分  
内容 普通救命講習

講師 赤坂消防署

会場 あい・ぽーと二階 多目的ホール

## 〈千代田区〉

二月十六日(水) 十四時から十五時三十分

内容 学童保育

講師 野中賢治

(児童健全育成推進財団 企画調査室長)

会場 西神田児童センター 小ホール

## ※日程場所変更有

三月二十六日(月) 十時三十分から十二時

内容

講師 大日向雅美

(本法人代表理事)

子育てひろば「あい・ぽーと」施設長

会場 子育てひろば「あい・ぽーと」施設長

## 〈浦安市〉

一般コース

二月二十四日(月) 十時三十分から十二時

内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言

講師 伊藤美佳

(東洋大学ライフデザイン学部講師)

会場 浦安市文化会館

二月二十八日(月) 十五時から十六時三十分

内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言

講師 大日向雅美

(本法人代表理事)

子育てひろば「あい・ぽーと」施設長

会場 浦安市文化会館

三月七日(月) 十三時三十分から十五時

内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言

講師 新澤誠治

会場 浦安市文化会館

## 児童育成クラブ指導員コース

二月三日(木) 十時から十一時三十分

内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言

講師 野中 賢治

(児童健全育成推進財団 企画調査室長)

会場 浦安市文化会館

## 〈高浜市〉

一月二十六日(月) 十四時から十五時三十分

内容 家庭的保育の実施に向けて

講師 福川須美

(駒沢女子短期大学教授)

会場 高浜市中央公民館(予定)

## 【養成講座開講情報】

〈港区〉

子育て・家族支援者養成講座(二級) 第八期

開講日 二〇一一年一月十四日(金)

三月二十五日(金)まで

〈千代田区〉

子育て・家族支援者養成講座(三級) 第六期

開講日 二〇一一年五月九日(月)

七月十一日(月)まで

〈浦安市〉

子育て・家族支援者養成講座(三級) 第六期

開講日 二〇一一年五月十三日(金)

七月十五日(金)まで

